

国土交通省検証委員会報告書及び統計委員会タスクフォース  
報告書を踏まえた統計的な精査の視点について  
(案)

統計委員会委員長  
椿 広 計

- 建設工事統計の全体像
  - ・ 建設工事統計調査、建設工事受注統計調査の概要
  - ・ 建設工事受注統計調査の現状の作成プロセス  
(特に集計を中心とした業務実態、ドキュメントの内容)
  - ・ 作成プロセスに関する情報公開の現状
  - ・ 令和3年4月分からの新推計方式の妥当性の確認
  
- 影響範囲
  - ・ 建設工業動態統計調査集計結果の誤りの影響とその範囲
  
- 人材面／ガバナンス面
  - ・ スタッフの統計業務の経験、データ処理・推計方法に関する知識等の程度
  - ・ 国交省における統計担当の配置の考え方
  - ・ 今回の事案に関する統計幹事、分析審査官の活動状況、今後の在り方
  - ・ 今回の事案のトップへの報告や対応状況
  - ・ 今回の事案における相談制度活用の状況、今後の在り方
  
- 国交省報告書提言への現時点での国交省の取組方針
  - ・ 二重計上が生じている期間の遡及推計の方針、実施完了時期の見通し
  - ・ その他の提言への取組の見通し

- 総務省報告書と国土交通省報告書の関係
  - 〔 総務省報告書の精査を国土交通省報告書の精査から得られる知見も通じて実施 〕
- 国土交通省の検討会で更に対応すべきことが明らかになったもの
- 政府全体で取組むべきもの等
  - ・ 総務省報告書及び国交省報告書の提言、その他今回の事案を踏まえて政府全体として取組むべきもの
  - ・ 導入に向け検討中の総務省の統計作成プロセス診断の有効性の強化（自己診断と第三者診断の有効な組み合わせ方策）
  - ・ 統計アナリスト等の研修の現状と今回事案への対応
  - ・ 基幹統計調査の遅延調査票の集計プロセスでの扱い
  - ・ 基幹統計調査における欠測値補完と復元処理の実施状況、及び同処理の変更時の集計システムの設計レビューの状況（システムへの影響の確認状況）
- その他